

札沼線代替バスの運行概要

項目	月形・当別線	月形・浦臼線
1 運行事業者	有限会社下段モータース	株式会社美唄自動車学校
	バス事業者が異なるため、浦臼町内から当別町内など、月形市街地をまたぐ移動は、バスの乗り換えが必要	
2 運行開始日	令和2年4月1日	
3 便数	1日9往復18便	1日5往復10便
4 使用車両 【資料1-1参照】	「日野 ポンチョ」 「トヨタ ハイエース」 の2台を新規購入	「トヨタ ハイエース」 の1台を新規購入
	【主な装備】 ・簡易料金箱（両替は運転手手渡し対応）、車内放送設備、降車合図ボタン、手すりなど。 ・整理券機及び運賃表示器無し（運賃表を紙で貼付） 【検討事項】 ・誤乗車回避のため当別線と浦臼線のバスの色は異なる色で検討 ・ラッピング及び愛称について検討	
5 運行ルート 及びバス停 箇所 【資料2-1、資料2-2参照】	主系統：25.9km 副系統：24.3km ※月形高校通学用に朝夕の各2便をショートカットの副系統を設定	主系統：19.5km 副系統：18.7km ※月形高校通学用に朝の1便を月形温泉を経由しない副系統を設定
	バス停：24箇所	バス停：23箇所
	・「月形駅」、「月形高校前」、「月形役場」、「月形市街」の4箇所のバス停は、当別線と浦臼線の共通となることから1本のバス停を共有 ・待合所は、利用状況を踏まえて来年度以降検討	
6 運行ダイヤ について 【資料3-1、資料3-2参照】	浦臼～当別間でのバス乗継、北海道医療大学駅でのJRへの乗継ができる限りスムーズになるよう時刻の設定	

項目	月形・当別線	月形・浦臼線
7 国や道からの支援 【資料4-1、資料4-2、資料4-3参照】	「地域間幹線系統補助」で申請済 ・当別町を中心市町村に準ずる市町村として申請 ・国と道から運行費補助 R2年度(R1.10～R2.9): 7,590千円 R3年度(R2.10～R3.9): 15,138千円 R4年度(R3.10～R4.9): 15,138千円 ・国から車両減価償却費等補助	「地域内フィーダー系統補助」で申請済 ・地域間幹線系統に接続する路線として申請 ・国から運行費補助 ※網計画策定後の初適用の年度で上乗せ額があるが、補助金の年度単位が10月～9月までであることから、代替バス運行開始4月からの適用では半年分(R2.4～R2.9)となるため、来年春に示される算定資料を踏まえて、初年度で満度にももらえるようR2年10月以降に初適用することも検討。 ・国から車両減価償却費等補助
8 運賃 【資料5-1、資料5-2】	・大人の普通運賃については、前回協議会に提示。 ・今回、定期券等を含めて「協議運賃」として、3町での活性化協議会（又は地域公共交通会議）の承認を経て、別紙様式により、バス事業者が運輸局に申請する。 ・R2年度に、JR定期利用者に対して、代替バス定期との差額補償の手続を進める。	

下段モーターズ：下記 2 台で 18 便を運行

美唄自動車学校：下記ハイエース 1 台で 10 便を運行



日野自動車 ポンチョ（33人乗り（座席18、立席14、運転手1））



トヨタハイエース（14人乗り（座席13、運転手1））

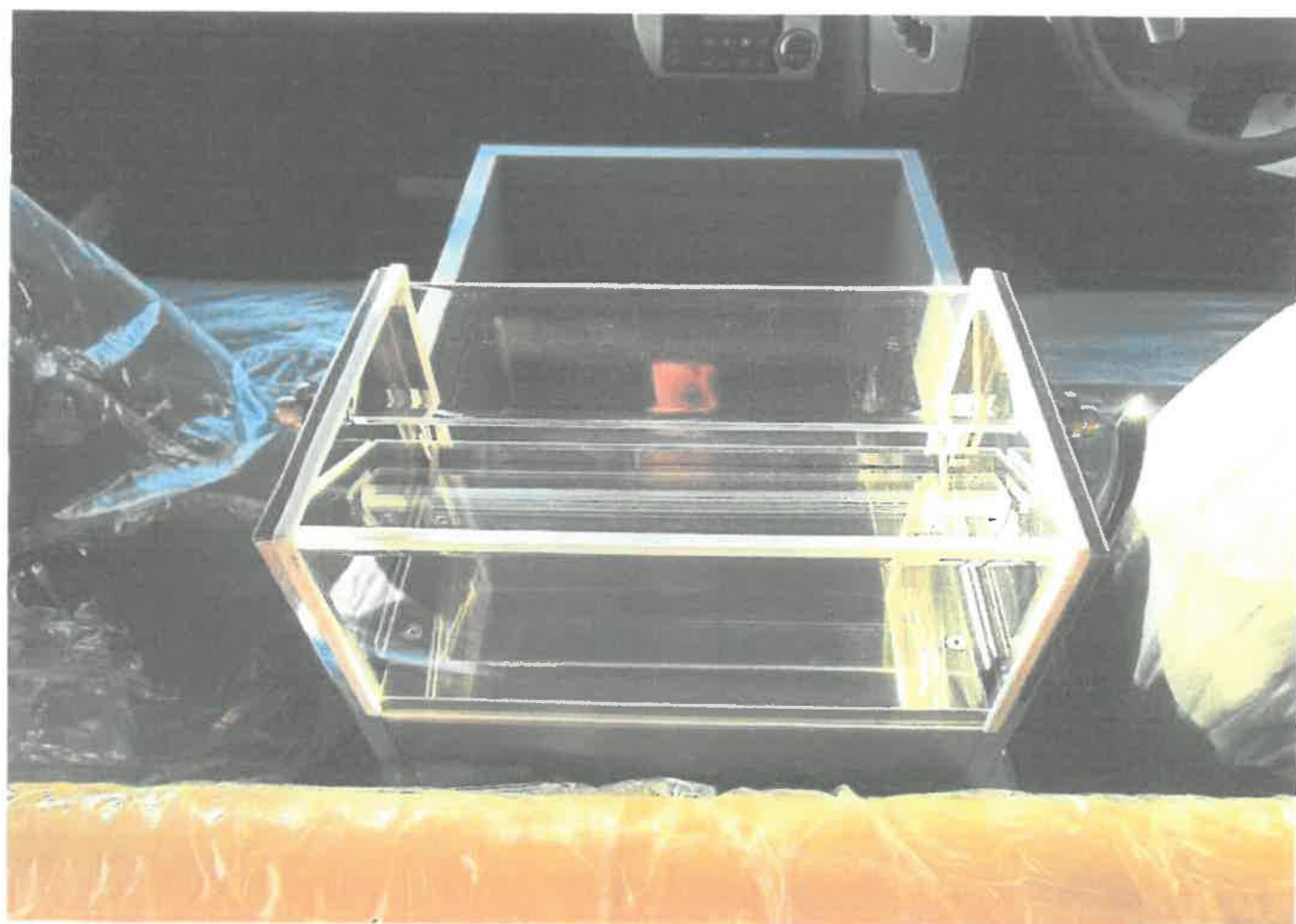
ポンチョ内装（カタログより）



ハイエース内装（カタログより）



簡易料金箱（ハイエースの設置）



手すり（ハイエースの出入口）

